

平成21年度 「新たな公」によるコミュニティ創生支援モデル事業

モデル事業名	社員食堂でつながる循環の輪 ―都市と農村のコミュニティ創造構想―
対象地域	福岡県築上町と行橋市、北九州市
対象地域の概要	 し尿液肥の農地利用  対象地域（築上町、北九州市、行橋市）  築上町の地図
提案内容の概要	社員食堂という切り口から、企業と農村が、循環型農業拡大と従業員の健康増進といった双方の利益に基づいたコミュニティ構築のモデル化を目指す。
提案する活動の内容 (1) 地域の課題	平成20年度事業では、農家サイドから企業サイドへのアンケートや個別面談、事業紹介DVD作成等の予備的アプローチを行った。結果、こうした活動の延長線上に「農村と企業の新たなコミュニティ創造」、さらに「生ごみバイオマス循環利用や企業の社員食堂の充実」を期待できることが確認できた。 しかし、社員食堂の生ごみ収集や農産物販売のためには、より企業との結びつきを強固にする必要がある。企業従業員に「社員食堂で築上町の米や野菜を食べたい」と言ってもらえるような工夫が必要である。そこで、今年度はアンケートで要望が多かった農業体験を実施し、企業と当協議会との信頼関係構築の第一歩としたい。
(2) 活動内容の案	活動①：田んぼの除草体験 ○ 当協議会で10アール程度の田んぼを用意し、田んぼの中の除草を体験してもらう ○ 当協議会にて除草指導を行う。稲作の全体作業がわかるような指導を行う。 ○ 当日は参加者と当協議会メンバーにて、昨年の収穫物を使った昼食会を実施する ○ アンケート実施

	活動②：稲刈り体験
	○ 活動①の収穫を体験してもらう ○ 当協議会にて稲刈り指導を行う。稲作の全体作業がわかるような指導を行う。 ○ 当日は参加者と当協議会メンバーにて、今年の収穫物を使った昼食会を実施する ○ アンケート実施
	活動③：農業体験収穫物の社員食堂での利用
	○ 活動②で収穫された農産物を社員食堂で使用してもらう ○ 収穫物の使用に際しては、食べる人がそのことがわかるような表示や案内を行う ○ 収穫物使用後のアンケート実施
応募団体名	築上町有機液肥固形堆肥利用者協議会
リンク	http://www.town.chikujo.fukuoka.jp/bunnyabetsu/jyunkan/top.html (築上町役場、循環事業紹介ページ)
部局／担当者名	事務局／辻林英高
連絡先	〒829-0311 福岡県築上郡築上町湊1382-2 TEL：090-9721-7372 e-mail：tuji@bd5.so-net.ne.jp
推薦市町村名	福岡県築上町